

2019 年度「総合政策トピックス A」の授業科目概要 (案)

【科目・単位】総合政策トピックス A (2 単位)

【授業担当者】代村田 俊一 (総合政策学部教授) 豊原 法彦 (経済学部教授)
齊藤 芙美 (千里国際高等部教員就任予定 < 総政研究科修了生 >)

【実施日程】2019 年 8 月 1 日(木) ~ 8 月 5 日(月) (予定)

【開講場所】神戸三田キャンパス・千刈キャンプ・神戸市内 (フィールドワーク訪問先は未定)

【履修定員】学部生 16 名と高校生 9 名の合計 25 名。なお、高校生は「高大連携科目規程」了解事項に基づき、関西学院高等部、千里国際高等部、啓明学院高校とする。

【履修時期】学部生は春学期の総政開講事前申込制科目の履修申請期間とする。
高校生は高大連携科目の手続きに則り 6 月 7 日(金)までに学校長から学長に推薦する。

【科目目的】

国際公共政策の分野からケース・スタディを選択し、問題解決への関心、解決能力などの基礎的な国際要素を身に着けることを目的としている。そのために「現場を知ること」と「理論を持つこと」を両輪とし、「現場」での実情を「理論」を用いて検証を行い、また「理論」を「現場」に当てはめ進展・改善を図るといふ思考プロセスの形成を求める。

【科目内容】

与えられた情報についてひとりひとりが思考を巡らし、問題を探索し、意見をまとめ、他者へ発信していくことに価値を見出す課題解決型・Self-development 型の新しい授業科目である。特色として、大学生の履修者に加え、高校生も受け入れる。また、履修者・高校生・授業担当者は 5 日間共に千刈キャンプ場に宿泊し Camp 形式で実施する。なお受講料は徴収しないが、所要経費 (千刈キャンプ場宿泊/食事費用、交通費、保険料等) は別途徴収する。【2018 年度実績 : 23,000 円】

また、「現場」を知るために学外の複数の機関を訪問予定。2018 年度は JICA 関西 (神戸市中央区) ネスレ日本株式会社 (神戸市中央区) を訪問した。

加えて、「理論」を得るために様々なコンテンツを提供する (以下、2018 年度の実績例)

- (1) Data Analysis : データから何が見えるのか、また何を導くことができるのか、そして「理論」をいかに根拠付けるのかを統計学の専門家から学ぶ。
- (2) Liberal Arts : 「理論」の成熟において、またあらゆる場面での判断において、一般教養が如何に作用するのかを学ぶ。
- (3) Case Study : 元国連職員による実例を題材としたケース・スタディにより、現場の感覚を磨くだけでなく、将来の姿を想定させることで自身のキャリア形成を意識させる。

以上のような授業内容を踏まえ、履修者はより学際的な視野に触れることとなる。また、事前学習を課すことにより予め履修の目的を明確にさせた上で、毎日レポートを提出させ、最終授業日には集大成として各自で作り上げる成果発表プレゼンテーションを実施する。

以上